

実証実験に向けた優先的な検討区域の選定の考え方

1. 目的

ワークショップ及びアンケート調査結果等を踏まえ、各区域の特性をもとに、実証実験に向けた「優先的に対応すべき地域」を選定するための考え方を整理する。

2. 実証実験に向けた区域（地域）の選定の基本的な考え方

実証実験に向けた区域（地域）の選定の基本的な考え方は、以下の通り。

- 1) 2区域（地域）を選定し、順位付けも行う。
- 2) 地域特性を考慮する。
- 3) 実証実験で用いる交通サービスは、異なる種類のものとする。

3. 選定の考え方

選定にあたり、4区域（5地域）の特性を、緊急性、重要性、効果、関心度の4つの視点から整理する。

また、4つの視点について、できる限り定量的に示したうえで、客観的な判断に基づき「優先的に対応すべき地域」を選定する。

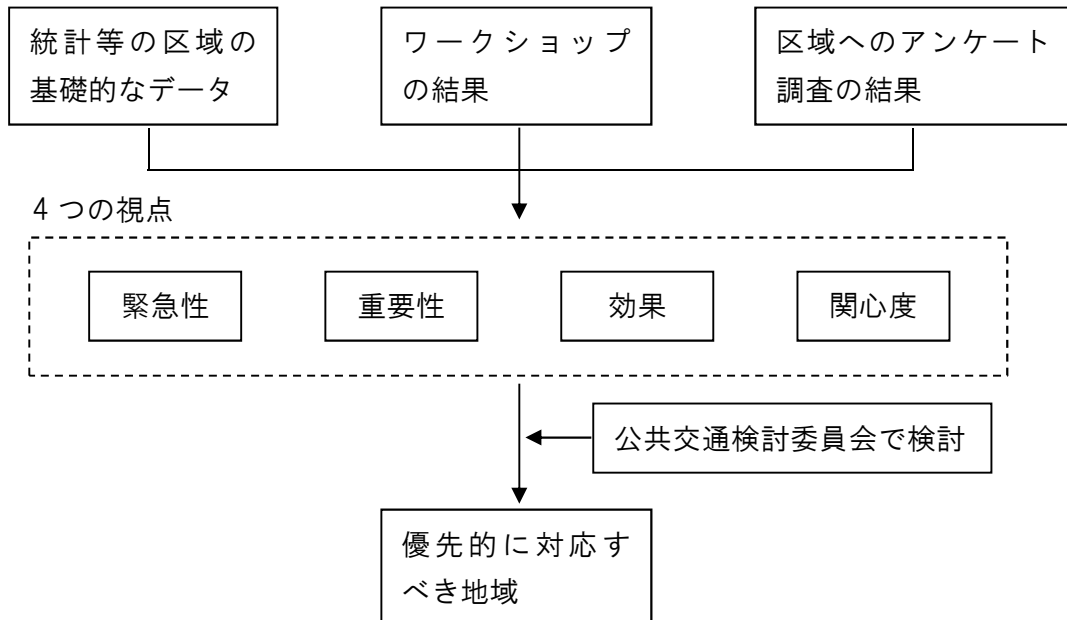


図 優先的に対応すべき地域の選定の考え方

4. 4つの視点の指標

4つの視点（緊急性、重要性、効果、関心度）について、それぞれ以下の指標を設定する。
この指標による整理結果を、次ページに示す。

表 4つの視点の指標（案）

視点	説明	指標（案）	出典
緊急性	「緊急性」として、 <u>高齢化の進展状況</u> に着目する。	1) 高齢化率（平成30年）	住民基本台帳から整理
		2) 本人及び同居している家族が運転免許を持っていない割合	区域へのアンケート調査結果
重要性	「重要性」として、 <u>最寄りバス停・鉄道駅までの距離</u> に着目する。	3) 最寄りの鉄道駅までの直線距離	図上で計測
		4) 最寄りのバス停までの直線距離	
効果	「効果」として、 <u>新たな交通手段に対する利用意向</u> に着目する。	5) ワークショップで出た公共交通サービスの利用意向（最も高いもの）	区域へのアンケート調査結果
		6) 同上「ぜひ使いたい」で最も高いもの	
		7) 利用頻度（「週2～3回以上」利用したい人の割合が最も高いもの）	
関心度	「関心度」として、 <u>公共交通対策への関心の高さ</u> に着目する。	8) 区域へのアンケートの回収率	区域へのアンケート調査結果

表 指標（案）による各区域の特性の整理結果

視点	項目	指標（案）	深沢区域	引田・代継・網代区域		草花折立下区域	東秋川橋西側区域
				網代	引田・淵上・代継		
緊急性	高齢化の進展状況	1) 高齢化率※ ¹ (平成30年)	62.5%	30.5% (51.7%)	29.8%	43.5%	26.6%
		2) 本人及び同居している家族が運転免許を持っていない割合※ ²	0.0%	0.0%	8.6%	14.3%	9.7%
重要性	最寄りバス停・鉄道駅までの距離	3) 最寄りの鉄道駅までの直線距離	約2.2km	約1km	約1km	約1.5km	約900m
		4) 最寄りのバス停までの直線距離	約2.0km	約460m	約570m	約560m	約460m
効果	新たな交通手段に対する利用意向	5) ワークショップで出た公共交通サービスの利用意向※ ³ （最も高いもの）	84.7% (ドアtoドア)	90.4% (タクシー補助)	82.2% (シャトル便)	92.2% (るのバス)	70.9% (小型バス)
		6) 同上「ぜひ使いたい」で最も高いもの	30.8% (ドアtoドア)	45.2% (タクシー補助)	24.7% (シャトル便)	33.8% (小型バス)	23.3% (バス停駐輪場)
		7) 利用頻度(「週2~3回以上」利用したい人の割合が最も高いもの)	44.4% (定路線型)	33.3% (住民主体の交通、定路線型)	36.7% (シャトル便)	40.4% (るのバス)	35.7% (バス停駐輪場)
関心度	公共交通対策への関心の高さ	8) 区域へのアンケートの回収率	62.5%	35.2%	39.5%	43.2%	27.9%

※ :それぞれの指標（案）の上位2区域（地域）

※¹ 高齢化率の網代の（51.7%）は、特別養護老人ホームの入所者を含む場合。

※² 本人及び同居している家族が運転免許を持っていない割合：アンケートの問6（回答者の運転免許有無）、問7（同居家族の運転免許有無）とも「2. 持っていたが返納した」「3. 持っていない」と答えた人及び問5（世帯構成）で「1. 単身世帯」と回答し、かつ問6（回答者の運転免許有無）で「2. 持っていたが返納した」「3. 持っていない」と答えた人の割合を算出。

※³ 公共交通サービスの利用意向：「ぜひ使いたい」「金額が妥当なら使いたい」「時間が合えば使いたい」「目的地に行けるなら使いたい」の割合の合計。

【参考】各区域の人口構成（H30.11.16（アンケート調査対象抽出時）時点）

	深沢区域	引田・代継・網代区域			草花折立下区域	東秋川橋西側区域
		網代区域	網代区域 ※特養除く	引田・淵上・代継		
人口	64	350	220	2,064	340	965
0-14歳	3	40	27	259	17	123
15-64歳	21	129	126	1,189	175	585
65歳以上	40	181	67	616	148	257
高齢化率	62.5%	51.7%	30.5%	29.8%	43.5%	26.6%

表 (参考) その他の指標の候補も含む整理結果

視点	項目	指標の候補	深沢区域	引田・代継・網代区域		草花折立下区域	東秋川橋西側区域
				網代	引田・淵上・代継		
緊急性	高齢化の進展状況	住民数の経年的な変化 (住民基本台帳から整理)	おおむね横ばい	おおむね横ばい	近年増加に転じている	減少傾向	おおむね横ばいだったが、減少に転じている
		住民の年齢階層の変化 (住民基本台帳から整理)	高齢化率が増加傾向	高齢化率が増加傾向	高齢化率が増加傾向	高齢化率が増加傾向	高齢化率が増加傾向
		高齢化率(平成30年) (住民基本台帳から整理)	62.5%	30.5% (51.7%：特養入所者を含む場合)	29.8%	43.5%	26.6%
		区域へのアンケート調査での65歳以上の高齢者の割合	75.0%	40.6%	40.9%	67.2%	42.0%
		区域へのアンケート調査での回答者本人が運転免許を持っていない割合 (持っていたが返納した+持っていない)	15.0%	15.6%	22.8%	25.7%	19.4%
		区域へのアンケート調査での同居している家族が運転免許を持っていない割合 (持っていたが返納した+持っていない)	21.4%	14.8%	9.1%	27.0%	16.4%
		(区域へのアンケート調査から集計) 本人及び同居している家族が運転免許を持っていない割合	0.0%	0.0%	8.6%	14.3%	9.7%
重要性	最寄りバス停・鉄道駅までの距離	最寄りの鉄道駅までの直線距離	約2.2km	約1km	約1km	約1.5km	約900m
		最寄りのバス停までの直線距離	約2.0km	約460m	約570m	約560m	約460m
		最寄りのバス停・鉄道駅までの直線距離	約2.0km	約460m	約570m	約560m	約460m
効果	新たな交通手段に対する利用意向	区域へのアンケート調査でのワークショップで出た公共交通サービスの利用意向(最も高いもの) (「ぜひ使いたい」「金額が妥当なら使いたい」「時間が合えば使いたい」「目的地に行けるなら使いたい」を合わせて、「使いたい」とする割合の合計)	84.7%	90.4%	82.2%	92.2%	70.9%
		同上「ぜひ使いたい」で最も高いもの	30.8%	45.2%	24.7%	33.8%	23.3%
		利用頻度(「週2~3回以上」利用したい人の割合が最も高いもの)	44.4%	33.3%	36.7%	40.4%	35.7%
関心度	公共交通対策への関心の高さ	区域へのアンケートの回収率	62.5%	35.2%	39.5%	43.2%	27.9%

※ :それぞれの指標(案)の上位2区域(地域)